

- 日本海溝・千島海溝沿いで**続いて発生するかもしれない「後発地震」に注意を促し**、「一人でも多くの人命を救う」ため、最初の地震発生後に「**北海道・三陸沖後発地震注意情報**」を発表。
- 情報が発表されたら、**地震への備えの再確認**と、次の地震発生時に**すぐ避難できる準備**を

## 北海道・三陸沖後発地震注意情報



### ■ 発表条件

想定震源域でMw7.0以上の地震が発生  
※その周辺でも地震の規模によっては発表

### ■ 発表方法

気象庁・内閣府の合同記者会見

### ■ 防災対応をよびかける期間

地震発生から**1週間**

### ■ 発表の頻度（想定）

概ね**2年に1回程度**

### ■ 防災対応をとるべきエリア

津波高**3 m以上**または**震度6弱以上**が想定される地域 ※左図の着色された市町村

※この情報は、大規模地震の発生可能性が平時よりも相対的に高まっていることを伝える情報であり、情報が発表された場合でも後発地震が発生しない可能性が高いことに留意。

## とるべき防災対応

巨大地震は突発的に発生することの方が多く

**日頃からの備えが重要！**

## 北海道・三陸沖 後発地震注意情報

M7.0以上の  
地震発生後に発表

社会経済活動は継続したうえで

**地震への備えの再確認**  
**発災時にすぐ避難できる準備**

枕元や靴等を置いて寝る



すぐに逃げ出せる  
態勢での就寝



非常持出品の  
常時携帯



緊急情報の  
取得体制の確保

崩れやすいブロック塀等に近づかない



想定されるリスクから  
身の安全の確保



日頃からの  
備えの再確認

## ○札幌管区気象台HPで解説ページを公開

### ○北海道・三陸沖後発地震注意情報

地震がいつ起こるのかわかることはできませんが、もししたら次の巨大地震も「ひとまわり小さな地震」の後に続いて発生するかもしれません。このため、少しでも巨大地震による被害を少なくするために、巨大地震が発生と考えられている場所やその周辺で地震が発生した場合、その地震の津波警報や震度の情報とは別に「北海道・三陸沖後発地震注意情報」という情報を発表する場合があります。この情報は、上の図の場所です、さらに大きな巨大地震が、いつもより少し起こりやすくなっている、ということをお伝えするものです。地震予知ではありませんので、慌てずに落ち着いて行動してください。とっていただきたい行動は地震への備えの再確認です。また、津波の被害を受ける地域にお住まいの方は、特に最初の1週間は津波からすぐに逃げる準備をお願いします。



「北海道・三陸沖後発地震注意情報防災対応ガイドライン」より引用し一部加工

## ○一般の方向けの3分解説動画を作成



コンテンツはこちらからご覧いただけます

気象台HP解説ページ



3分解説動画

